決裁	議長	局長等	次長	リーダー	担当	合議		
	西					山内	井上	山内

様式第６号（第８条関係）

令和４年12月１日

養父市議会議長　様

養父市議会議員　瀬原 敬樹

政務活動概要報告書

政務活動の概要を下記のとおり成果を報告します。

記

１　活動年月日　令和４年11月１日（火）～11月２日（水）

２　活動場所　滋賀県大津市唐崎2-13-1
全国市町村国際文化研究所(JIAM)

３　活動目的　研修を受講し、議員活動の幅を広げるため。

４　活動内容　市町村議会研修２日間コース「議会改革を考える」

５　活動成果

「議会改革度調査から見る地方議会」と題して、早稲田大学マニフェスト研究所事務局長・一般社団法人地域経営推進センター代表理事・熊本市政策参与・元徳島県川島町長、徳島県那賀町議会議員、茨城県取手市議会事務局次長の３名を講師として２日間の研修を受けた。

Ⅰ　議会の全般的な共通認識、共通課題について

執行部は執行権、議会は議決権、それぞれの権能を行使してまちの課題解決や未来の姿を決めている。そこに住民(有権者)というファクターが加わることで利

養議
第　号
4.12.-1
兵庫県
伊丹市議会事務局

害に不一致が生じる。議会の役割・機能について有権者や行政職員、議員自身の認知の歪みが課題と考える。

Ⅱ　議会改革の目的・意義、目指すべき姿について

議会改革がなぜ必要なのか、どのように進めることが効果的か、また複数年にわたり議会改革ランキングの上位の自治体の取組の事例紹介、ポイントの説明を受け、問題に直面した場合に取組の再現性があるか、足りないものが何かを考える時間になった。

Ⅲ　言論の府と言われる議会において議論が深まらないことについて

効果的な話し合いにならない原因は…

① 思い込み
② 時間の制約
③ 議論の方向性を見失う（脱線など司会の機能不全など）
④ 集中力の低下

以上のことを解決するためには会議出席者の意識・スキルや設備（ツール）・場の雰囲気を整備することが必要。

議論（ディベート）ではなく対話（ダイアログ）を行う意識が多様な意見の表出、気づき、関係性（つながり）の構築、次へのアクションなどに結び付き、共同体感覚を育み合意形成に至るという流れを意識する。また円滑な対話にはファシリテーションスキルが必要。

Ⅳ　議会だよりについて

ある自治体によるアンケート調査では、議会だよりを読んでいる住民の割合は1割であるという結果を踏まえ、紙媒体である意義や問題点・改善点、独自の取組などの紹介を受け、グループに分かれて対話を行った。広報という部分と広聴というふたつの側面から現状（仮題）・要因・解決策を洗い出し、結論を導いた後に発表した。

Ⅴ　まとめ

全国のあらゆる自治体や議会で同じような問題に直面している現実が明らかになった。それぞれの問題には共通点が多く、事例や課題解決の手法を共有する仕組みがあれば有効と考えるが、多くの団体は思考停止に陥り、独りよがりとも捉えられる言わば『車輪の再発明』を行っているのが現状である。課題解決のための共通のプラットフォームを構築し、データベース化できれば無駄なコストは大きく削減できるはずである。

問題を詳らかにし、摩擦を伸びしろと考え、よりよい社会を創り出すためには無謬性の意識を取り払い、未来志向の対話を常に心がけるべきである。

改革というワードに蔓延るネガティブな印象に引きずられることなく、不断の努力で取組むことを決意した。

あらゆる問題・課題には類似した先例があり、それらを乗り越えた事例は多く存在することなど、その他にも想像以上の収穫に驚いた。

これまでコロナ禍で管外の視察や研修ができなかったが、今後も定期的にテーマを絞って意欲的に参加していきたい。